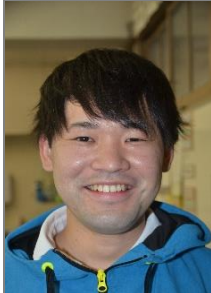
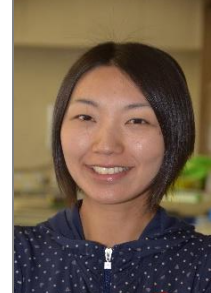




「チーム南小」職員紹介 No.2

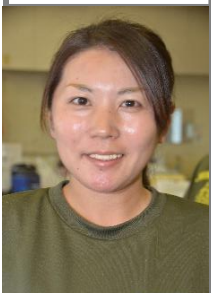
* 敬称略


 <p>うえの ともあき 上野 智章</p>	<p>1年2組の担任です。今年は、「新規採用教員研修」といって、子どもたちにもっと頼られる先生になるための研修が1年間続きます。定期的に出悦子(おおいで・えつこ)先生が上野先生に対して多くの事をアドバイスします。校外研修の時は、腰塚真弓先生が担任です。「ラーメン大好き先生」です。</p>
<p>今まで出会った先生の中でこの先生は...</p>	<p>小学生の時は、給食を完食することができず、いつも半分以上残していました。当時の担任の先生が、毎日完食できるようにと、私におにぎりを作ってくれました。そのおかげで、今では、牛丼チェーン店の牛丼・並盛を余裕で三杯。</p>
<p>こんな子どもでした</p>	<p>大学時代、友人と初詣(はつもうで)に。宇都宮から日光の東照宮まで、なんと自転車で。やっと日光についたら、運の悪いことに雪が降ってきました。寒いので温泉に入ったら湯冷めしてしまいました。今でも体力には自信があります。</p>
<p>おまけ</p>	<p>小学生の時に、体力をつけるために友達の家へ遊びに行くときの移動手段は、「走り」でした。そんな小学生は私以外にいなかったの、「絶対1位になれる。」と思って臨んだ6年生の校内持久走大会。結果は3位。油断大敵です。</p>

 <p>くらた ななこ 倉田奈々子</p>	<p>1年1組の担任です。2組の上野先生と力を合わせて、1年生全体に係る学年行事を企画・運営する学年主任です。道徳の授業が、楽しく魅力的な時間になるように考えるキャプテン(道徳教育推進教師)です。また、ジャイアント・パンダと東武鉄道のことなら何でも知っています。</p>
<p>今まで出会った先生の中でこの先生は...</p>	<p>中学校の時の部活動の顧問の先生。入学当初はとにかく「厳しい!!!」と思っていました。でも卒業してから、自分の思考や行動に大きな影響を与えてくださったのだと感じました。厳しい中にも優しさのある、素敵なお方でした。</p>
<p>こんな子どもでした</p>	<p>小学校を卒業するまでは、とても少食で小柄な子どもでした。背の順はいつも最前列を争っていました。中学校3年間で、身長が約20センチメートル伸びました。それからは、背の順は後ろから数えてもらえるようになりました。</p>
<p>おまけ</p>	<p>初めて一人でアメリカ旅行に行ったとき、空港で友達に連絡をしようと思ったら小銭がない。困ったなあと考えていたら、警察に声を掛けられました。「え、捕まる?」と思いきや、事情を話したら親切に携帯電話を貸してくれました。</p>

 <p>かわの たくみ 河野 巧</p>	<p>3年2組の担任です。学年主任の野口先生をしっかり支えています。この3月に大学を卒業しました。育児休暇(いくじきゅうか)中の津布久先生が南小学校に戻ってくる(8月)までの勤務です。教員採用試験に向けて仕事と勉強の両立をめざしています。</p>
<p>今まで出会った先生の中でこの先生は...</p>	<p>中学2年生の時の担任の先生は、初めて担任を受けもつ若手の先生です。何事にも暑苦しいくらい熱心に取り組む先生。私が友だちと悪ふざけをして学校のガラスを割った時は、泣きながら叱ってくださいました。私の目標の先生です。</p>
<p>こんな子どもでした</p>	<p>小学生の頃は元気いっぱいなお調子者でした。休み時間はすぐに外に遊びに。家に帰っても日が暮れるまで遊んでいました。調子に乗っていたずらをして先生から怒られることもしばしば。遊びが一番の思い出です。</p>
<p>おまけ</p>	<p>子どもの頃はたくさん怪我をしました。一週間で手の指を骨折、両足を捻挫。また、別の日には幼稚園のバスのタイヤを蹴って足首を捻挫。周囲の友だちには「お赦(はら)いに行ったらほうがいいよ。」と言われました。今は元気いっぱい</p>


 <p>のぐち きょうへい 野口恭平</p>	<p>3年1組の担任です。2組の河野先生と力を合わせて、3年生全体に係る学年行事を企画・運営する学年主任。また、コンピュータやスマートフォン、プロジェクターなどを活用した授業を、南小全体に広める情報教育のキャプテン。買い物かごを左肩にかつぎ、廊下を歩く姿は野口先生のトレードマーク。</p>
<p>今まで出会った先生の中でこの先生は...</p>	<p>大学受験に失敗し、浪人生だったとき出会った予備校の世界史(社会)の先生。何事も「習慣」にすることで、上達することを学びました。結果、それまで一番苦手な世界史が一番の得意科目になり第一志望の大学に合格できました。</p>
<p>こんな子どもでした</p>	<p>6歳離れた兄がいて、兄からたくさん影響を受けて育ちました。その一つが映画。小学校高学年から多くの映画を観ました。映画を観てたくさんの「世界」があること、人によって考え方・視点が違うことを知ることができました。</p>
<p>おまけ</p>	<p>保育園の年長の時、クラスに「今日は注射がある」というデマが流れ、恐ろしくなり保育園を脱走。50mlほど逃げるも先生にすぐに捕まり連れ戻される。結果、デマであることが分かり正気を取り戻す。…今でも注射は苦手です☆</p>


 <p>きむら ゆうこ 木村 優子</p>	<p>学級担任が授業を進めている中で、子どもたち一人一人をサポートする学校支援員の先生です。全学年の子どもたちがその対象ですが、1学期は低学年の子どもたちが、より良く学習したり生活したりすることができるように、適切に支援しています。今、スナップえんどうやレタスなどの野菜作りに夢中です。</p>
<p>今まで出会った先生の中でこの先生は...</p>	<p>中学生の時の校長先生。多感な時期の中学生に寄りそい、何時も私達を励まし、そしてじっと見守ってくれる先生でした。学校の「お父さん」的存在でした。口癖(くちくせ)は「桜梅桃李(おうばいとり)」。</p>
<p>こんな子どもでした</p>	<p>幼稚園の頃は、クラスで一番小さくて、牛乳が大きかったです。小学生の頃は、活発で男の子と校庭でサッカーなどをして遊びました。牛乳きらいは直らずに、給食の牛乳を泣きながら飲んだ思い出も。今はというと「牛乳 飲みます」。</p>
<p>おまけ</p>	<p>小学生の頃に、クラスの友だちととなり町の「アスレチック広場」に遊びに行く計画を立てました。お弁当を作ってピクニック気分で行き出たものの、歩き疲れてギブアップ。日も暮れ友だちの家族の車で帰宅。心に残る冒険でした。</p>

 <p>さやま よしえ 佐山 良江</p>	<p>2年1組の担任です。南小学校・学校教育の最も大切な「学びに向かう学級づくり・子どもたちが意欲的に取り組む授業づくり」について、多くの知識をもち、我々にアドバイスを送っています。我々職員室の仲間の中では、最も「チーム南小」に関することをいっぱい知っている先生です。</p>
<p>今まで出会った先生の中でこの先生は...</p>	<p>私が大学生の時に、ある中学校に教育実習に行きました。その時にお世話になったその中学校の音楽の先生です。「指導の仕方」・「生徒へ接し方」・「人柄」、とても魅力のある先生でした。今でも文通をしています。</p>
<p>こんな子どもでした</p>	<p>幼稚園でははずかしがりや。小学生の時、一度転校してその学校に慣れるまで、とても時間がかかりました。大学生の時は、友達とユースホステルに泊まる旅行に行き楽しく過ごしました。行き先は函館・札幌・知床半島</p>
<p>おまけ</p>	<p>今年の1月に、静岡県富士宮市で「日本一の山 富士山」を見ました。雲一つなく晴れ渡った空に、雄大に浮かび上がるようにくっきりと見えてとても感動しました。</p>

桜梅桃李... 桜、梅、桃、すもものこと。それぞれが独自の美しい花を咲かせるように、他人と自分を比べることなく、個性を磨こうという教訓を含んでいる。

ユースホステル... 青少年少女の旅に、安全かつ安価な宿泊場所を提供しようという社会運動で生まれた施設。略してYH。

 <p>こまつ ゆうか 小松 由佳</p>	<p>特別支援学級「かがやき学級」の担任。天真爛漫(てんしんらんまん)な小松先生は、14年間ハンドボールを続け、何度も栃木県代表として全国大会に出場。その経験を生かして、ハンドボールの練習に取り組む子どもたちに、適切なアドバイスを送り、栃木市の大会で南小学校はここ2年連続第3位。</p>
<p>今まで出会った先生の中でこの先生は...</p>	<p>「チャレンジしたから壁があることに気が付いた。結果にこだわる必要はない。壁に気が付いたのは努力の証、自信を持ちなさい。努力を続ければいつか壁は崩れる。崩れても謙虚(けんか)にいきなさい。」-中学校ハンドボール部の先生の言葉-</p>
<p>こんな子どもでした</p>	<p>とても病弱(びじやく)でした。人見知り(ひびり)で初めてのことがとても不安(ふあん)でした。言いたいことがなかなか言えない子どもでした。性格が変わったのは、大学生での一人暮らし。何でも一人で考え、決断し実行(じっけん)しなくてはいけない生活をしてからでした。</p>
<p>おまけ</p>	<p>大学の時友達が転んでけがをしてしまった。「だいじ?」と声をかけると「何か大切な物落とした?」と不思議な顔をされた。栃木で日常的に話していた言葉「だいじ」は、方言(ひょうげん)だった。友達も地方の子が多く面白い方言を学んだ。</p>

 <p>たなか しんいち 田中 新一</p>	<p>特別支援学級「きらめき学級」の担任。また、効果的な指導・支援方法を、各学級担任と連絡を取り合って一緒に考える業務(特別支援教育コーディネーター)にあたっています。さらに子どもたちが人間らしく幸せに生きていく権利(人権)について、考える機会を作ったり人権を守る教育を進めたりしています。</p>
<p>今まで出会った先生の中でこの先生は...</p>	<p>小学生の時、用務員の「おじちゃん」先生。その先生が書いた卒業文集の言葉「不幸は誰にもある。決して人を笑ふな!」。この「ふ」が何ともたまらなく今でも胸に刺(さ)まれています。言葉少なでも人を引きつける教師があこがれです。</p>
<p>こんな子どもでした</p>	<p>〈小学生〉朝早く起きるのがとても苦手で、一人で登校することもしばしば…。道路工事のために通学路(とんがく)が大幅に変更になったの知らずにいたことも…。また、夏休み最終日はいつも夜通し(よんがし)思い出日記(おぼいぢ)や工作をしていました…。</p>
<p>おまけ</p>	<p>上記のような小学生が、6年生の時に大きな人生の転換期(てんげんき)。学校の分離で、残されたメンバーの中で学校代表にもなるような場が増えに増えてきました…。中学の時は生徒会の役員(いんぎん)なども…。人生何が起(お)こるか分からないものです…。</p>